

TALON Tips

< 1 回の実行で複数のテーブルにデータを更新する >
(JavaScript エンジン)

株式会社 HOIPOI

第 1 . 2 版

1 目次

1	目次.....	2
2	はじめに.....	3
3	Tips セットアップ	4
3.1	事前準備	4
3.2	事前準備 2	4
3.3	セットアップ.....	4
3.4	セットアップ（その他）	5
4	Tips 概要	6
4.1	概要	6
4.2	処理フロー	7
4.2.1	処理フロー.....	7
4.2.2	処理内容.....	7
4.3	構築のポイント.....	7
4.4	サンプル機能.....	8
4.5	構築方法	8
4.5.1	TALON 機能の構築	9
4.6	利用 TALON 機能.....	13
5	改版履歴.....	14

2 はじめに

本資料はTALON機能を使用した活用例を掲載しております。

「**Tips 共通資料**」と合わせてご確認ください。

また、使用している機能の詳細につきましては「**310_TALON_機能構築マニュアル**」、基本的に機能の構築方法につきましては「**300_TALON_機能構築チュートリアル**」を合わせてご確認ください。

補 足

.....

TALON Tips のセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON 本体がセットアップ済みであること
※対応するバージョンについては当ドキュメントの改版履歴に記載しています。
 - TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること
 - TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
-

<注意事項>

-  TALON バージョンにより画面イメージが異なる場合があります。

3 Tips セットアップ

当 Tips を利用する為に必要なセットアップ手順を記載いたします。

3.1 事前準備

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.1 事前準備」を参照してください。

3.2 事前準備 2

「Tips 共通資料」の「4 セットアップ手順」>「4.2 事前準備 2」を参照してください。

3.3 セットアップ

下記セットアップを実施してください。

No.	実施有無		
1	×	スクリプトパッチの適用	
2	○	機能のインストール	Tips 番号 : 0006 (リポジトリデータ : TLN_TIPS_0006)
3	○	機能のセットアップ	Tips 番号 : 0006
4	○	機能利用権限の付与	Tips 番号 : 0006
5	×	DocRoot ファイルの 配備	
6	×	その他	

3.4 セットアップ（その他）

当 Tips はその他の作業はありません。

4 Tips 概要

4.1 概要

1 回の確定処理で、複数のテーブルの更新を実施します。

TALONデモユーザ

TIPS0005_仕入登録

検索条件 起動時の初期条件にする 保存 削除

仕入番号 0001

A 4縦 PDF出力 在庫照会 クリア Excel出力

仕入ヘッダ 項目

仕入日 2017/03/21 仕入業者名 仕入業者

仕入明細 項目 1 50 検索結果: 2件

	商品コード	商品名	仕入数量
参照	ITEM_A	商品 A	11
参照	ITEM_B	商品 B	10

ファイルを選択 選択されていません

TALONデモユーザ LOG

TIPS0005_在庫照会 開じる

検索条件

A 4縦 PDF出力 クリア Excel出力 検索

項目 1 50 検索結果: 2件

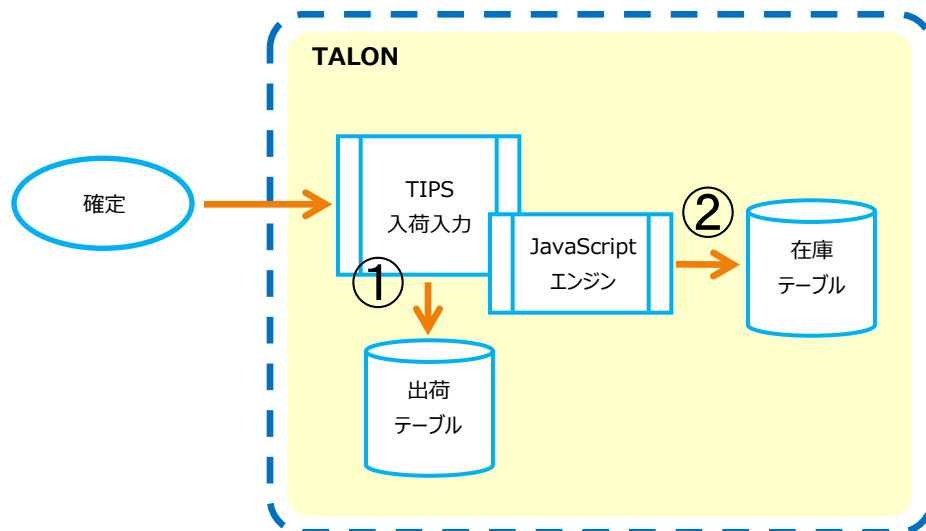
	商品コード	商品名	数量
参照	ITEM_A	商品 A	150
参照	ITEM_B	商品 B	150

データ入力後、確定ボタンを押下することで、仕入データと、在庫データの更新が実行されます

確定後、在庫照会画面を参照すると、在庫データが変更されていることを確認できます。

4.2 処理フロー

4.2.1 処理フロー



4.2.2 処理内容

- ① 利用者による確定により、通常の TALON の処理を実施。
- ② 通常の処理を実行後、JavaScript エンジンと呼出し、処理を実施。

4.3 構築のポイント

- ① 最初の処理は通常の TALON の機能にて実施します。
- ② TALON の「[JavaScript\(処理後\)](#)」機能を利用することで、TALON 処理が完了したタイミングで実行する処理をコーディングすることが可能です
それにより、更新内容を元に複数のデータベースに更新を行うような仕組みを構築することが可能になります。

4.4 サンプル機能

➤ TALON、TALON 関連機能

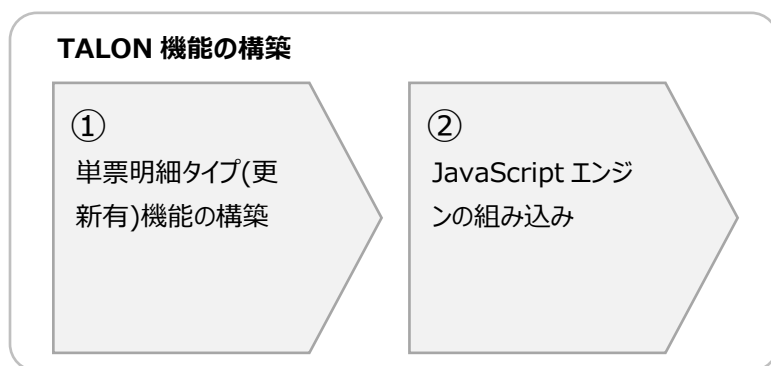
関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0006_仕入登録	TALON	TLN_TIPS_0006_PURCHASE
TIPS0006_在庫照会	TALON	TLN_TIPS_0006_ZAIKO_LIST
TIPS0006_仕入検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0006_PURCHASE_LIST
TIPS0006_商品検索子画面	TALON	TLN_TIPS_0006_ITEM_LIST

➤ データベース関連

関連機能名	種別	関連機能 ID
TIPS0006_仕入テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0006_PURCHASE
TIPS0006_仕入明細テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0006_PURCHASE_DTL
TIPS0006_在庫テーブル	TABLE	TLN_TIPS_0006_ZAIKO
TIPS0006_商品マスタ	TABLE	TLN_TIPS_0006_ITEM_MST

4.5 構築方法

<機能構築の流れ>



① 単票明細タイプ（更新有）機能の構築

サンプル：仕入登録機能の構築

※ 機能構築チュートリアル「[単票明細メンテナンス機能の構築](#)」を参照してください。

② 処理後 JavaScript エンジンの組み込み

※ 他機能呼出の設定については機能構築マニュアル「[JavaScript エンジン](#)」を参照してください。

Point ブロック設定の処理後 JavaScript にコードを記述する

ブロック設定の処理後 JavaScript にコードを記述することで、ブロックのレコードの処理が終了したタイミングで、当 JavaScript が実行されます。

Point JavaScript エンジンによる対象レコードのデータ取得方法

- メソッド : TALON.getTargetData ()
- タイプ : java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object>
- 説明 : 確定処理を行っている対象データを取得する

<使用例>

```
//検索条件項目'XXXXXXX'の値を取得する。  
var XXXXXXXX_VALUE = TALON.getTargetData()['XXXXXXX'];
```

Point**JavaScript エンジンによる SELECT 文発行**

- メソッド : TALON.select(java.lang.String sqlStr)
- タイプ : java.util.List<java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object>>
- 説明 : SELECT 文を発行する

<使用例>

```
//SELECT 文を作成する。  
var strSQL = "SELECT ITEM_CODE, ITEM_NM FROM SAMPLE_MST_ITEM";  
//SELECT 文を発行する。  
var lstSelect = TALON.select(strSQL);
```

Point**JavaScript エンジンによる SELECT データの取得**

上記で取得したリスト変数の内容より、SELECT 結果を取得する。

<使用例>

```
//SELECT 結果を取得する。  
for(var i = 0; i < lstSelect.size(); i++){  
    var mapSelect = lstSelect[i];  
    var _ITEM_CODE = mapSelect['ITEM_CODE'];  
    var ITEM_NM = mapSelect['ITEM_NM'];  
}
```

Point**JavaScript エンジンによるデータ登録（INSERT 実行）**

- メソッド : TALON.insertByMap(
 java.lang.String tableName,
 java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object> dataMap,
 java.lang.String[] targetColNameTbl
)
■タイプ : int
■説明 : INSERT 文を発行する。

<使用例>

```
//テーブルのフィールドの定義
var lstColsIns = [
    'ITEM_CODE'
    , 'ITEM_NM'
];

//登録するデータの準備
var mapData = new Array();
var dtNow = new java.util.Date();
mapData['ITEM_CODE'] = "AAAAAA";
mapData['ITEM_NM'] = "あああああ";

//テーブルにデータを登録する
var cnt = TALON.insertByMap('SAMPLE_MST_ITEM', mapData, lstColsIns);
```

Point**JavaScript エンジンによるデータの更新（UPDATE 実行）**

- メソッド : TALON.updateByMap(
 java.lang.String tableName,
 java.util.Map<java.lang.String,java.lang.Object> dataMap,
 java.lang.String[] setColTbl,
 jdk.nashorn.internal.objects.NativeArray whereColNameList
)
■タイプ : int
■説明 : UPDATE 文を発行する。

<使用例>

```
//テーブルのフィールドの定義
var lstCols = [
    'ITEM_CODE'
    , 'ITEM_NM'
];

//更新するデータの準備
mapData = new Array();
var dtNow = new java.util.Date();
mapData['ITEM_CODE'] = "AAAAAA";
mapData['ITEM_NM'] = "あああああ";

//Where 句の設定
var whereList = new Array();
var whereTbl1 = [ null, '=', 'ITEM_CD' ];
whereList.push(whereTbl1);

//テーブルにデータを登録する
var cnt = TALON.updateByMap( 'SAMPLE_MST_ITEM' , mapData , lstCols , whereList );
```

- 6.16 JavaScript エンジン > 6.16.2 各種タイミングで JavaScript エンジン呼び出す方法

5 改版履歴

日付	版数	内容
2017/04/01	第 1.0 版	初版
2018/07/10	第 1.1 版	TALON Ver4.1.5 に対応しました。 PostgreSQL に対応しました。
2019/06/01	第 1.2 版	TALON Ver5 に対応しました。